

会 議 録

会議の名称	平成29年度 第2回健康づくり推進協議会	
開催日時	平成30年3月15日（木）	
開催場所	宍粟市役所 3階 庁議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	山田 会長	
委員 氏 名	（出席者） 山田会長、伊達副会長、牧野委員、山本委員、中村委員、下川委員、千原委員、岡田委員、栗山委員、山下委員、下村委員、藤原委員	（欠席者） 小林委員 鎌田委員 中谷委員
事務局 氏 名	世良部長、津村次長、中野課長、平尾副課長、堀副課長、岸根成係長、岸根翠係長	
傍聴人数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理由	公開	（非公開の理由）
決定事項	<p>（議題及び決定事項）</p> <p>(1) 健康増進計画・食育推進計画について</p> <p>①基礎調査報告</p> <p>②アンケート調査結果</p> <p>③計画の構成（案）</p> <p>(2) 平成29年度 健康づくり事業実績報告</p> <p>(3) その他</p>	
会議経過	別紙のとおり	
議事録の確認 （記名押印）	<p>（委員長等）</p> <p>_____ (印)</p>	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>1 開会：中野課長</p> <p>2 部長あいさつ：世良部長 皆様、改めましてよろしく申し上げます。今日はとても暖かい日で、5月ぐらいの陽気ではないかと感じています。良い会議にできれば幸いです。 6月29日に第1回の会議が開かれ、平成30年度に健康増進計画・食育推進計画の策定を協議いただくということで、アンケート調査を実施するというご了解をいただいております。お手元の資料に、その結果の概要をまとめております。今月は自殺対策強化月間となっておりますが、宋栗市の自殺率は県内で最も高くなっております。宋栗市では、この結果を重く受け止め、市長がトップリーダーとなって自殺対策に取り組んでいくと申しております。今日お配りしたアンケート結果からも、自殺対策に関連するデータがいくつか得られております。 健康というと、体の健康にばかり注目が集まりがちですが、心の健康も含めて幅広い視点から活発な議論ができればと考えています。</p>
会長	<p>3 会長あいさつ：山田会長 私が患者さんに食事の指導をする時には、食事のボリューム、バランス、食事のリズムの3点についてよくお話しますが、最近子どもが多くなり、独立するようになって痛切に感じるのは、食事の楽しさが第4の要素として大事だということです。子どもと一緒に食べるとより一層おいしく食事ができます。何はともあれ、食べることが健康にとって最も大事なことです。今日は私も色々勉強させていただきたいと思いますので、皆様よろしく申し上げます。</p> <p>〈以下、山田会長より進行〉</p>
事務局	<p>4 議事 (1) 健康増進計画・食育推進計画について 平成29年6月29日に行いました、第1回健康づくり推進協議会でも説明をさせていただきましたとおり、計画支援業者を決定し、この半年間で各種統計の整理やアンケート調査を実施しております。支援業者につきましては、株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所（以降ジャパン総研）に支援をいただくことになりましたことをここで報告します。それでは、ジャパン総研様自己紹介をお願いします。今後、計画策定にむけて、ジャパン総研より専門的な見地から助言提案をいただきたいと思います。</p> <p>それでは、(1)健康増進計画・食育推進計画①基礎調査報告書について、保健福祉課 岸根から説明させていただきます。</p>
事務局	<p>1 基礎調査報告書について : 事務局より説明 以上の説明に対して、何か意見はありますか。</p>
副会長	<p>○この報告では、単純な数字や割合による調査が多くを占めていましたが、人口構造の変化等を加味した分析（年齢調整）をする必要があるのではないでし</p>

	<p>ようか。例えば、入院患者数が増加していますが、実際にはこれまでの取り組みによって一定の患者数抑制効果があったにも関わらず、それを上回るスピードでの高齢者層の増加があったために、数字上は効果が無いように見えてしまうこともあるかと思います。何か調整をされてはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>⇒仰るとおり、今回は単純集計のみの報告とさせていただいており、人口構造等を調整した調査結果ではありません。ただ、そうしたクロス集計による調査も、もちろん進めております。これらを掲載するとなると、膨大な量の報告となります。今回初めての報告では、まずは概要のみをお示しするという事で、割愛させていただきました。今後の協議会において、計画における具体的な取り組み等を審議していただく際に、改めて、人口構造等を調整した調査報告をさせていただきます所存です。</p>
副会長	<p>適宜、お示しいただけますと分かりやすく、ありがたいです。</p>
事務局	<p>次の議題となるアンケート調査結果も、同様に単純な集計結果のみの報告となっています。</p> <p>また、今後対策等を議論する中で、人口構造のように考慮すべきことがございましたら、委員の皆様からその都度ご助言いただけますと幸いです。</p>
会長	<p>続いて、議事（１）②について事務局より、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>２ アンケート調査結果</p> <p>続いて、アンケート調査への結果報告となりますが、アンケートについては、委員の皆様が平成 30 年 1 月 10 日に送付させていただいた内容でアンケートを実施しております。ジャパン総研の方にアンケート調査結果について取りまとめをしていただいておりますので、議事にあります、（１）②アンケート調査結果報告書についてはジャパン総研様より説明をしていただきます。</p> <p>それでは、ジャパン総研さんよろしく申し上げます。（ジャパン総研より説明）</p>
会長	<p>このアンケート結果を踏まえて、事務局より説明等ありますでしょうか。</p>
事務局	<p>膨大な量の報告でしたが、宍粟市で健康に関するアンケート調査をしたのは、30 年ぶりとなります。そのため、皆様が日頃感じていたことが、アンケートという公的な調査によっても、改めてそのとおりだったと裏付けられた部分もあるかと思います。一方で、違和感を覚えた部分も当然あるはずですので、このあたりの率直なご意見をうかがえればと思います。</p>
会長	<p>ご参考までに、30 年前の調査について少しお話しします。当時は、アンケート調査のほかに、町ぐるみの検診を通じて様々なデータを収集しました。調査結果から分かったことは、血圧の高い人ほど食塩を控えているということでした。そのため、高血圧教室にいらっしゃる市民の方に、食塩を控えるよう助言してもあまり意味がないこととなります。指導の対象選びがとても重要だとつくづく実感しました。</p>

副会長	仰るとおり、高血圧の方は指導される機会があるために、減塩の必要性を理解している場合が多く、反対に血圧が正常な方は指導される機会が少ないために、食塩のとり過ぎに気づいていない場合があります。だからこそ、ハイリスクの方への個別の指導を実施していくのが重要になります。他方で、市全体という枠組みで、血圧の低い方、高い方の両方に届くように情報発信をしていくことも必要だと思います。
委員	歯の状態については、概ね違和感はありませんでした。
副会長	虫歯を持つ3歳児が多いのは本当なのでしょうか。
委員	確かに3歳児から多くなっていると実感しています。
会長	同居のおじいさん、おばあさんが良くないことをしている場合があります。子どもがインフルエンザにかかった時も、その世話をするのは母親、祖母、祖父という順番が多く、父親は何もせずにインフルエンザが移りません。
事務局	アンケートを集計してみて、がんばっているところが沢山あるなど感じています。もちろん、歯の問題も色々あることはご指摘いただいた通りで、計画に反映していかなければと思っています。ただ、例えば運動について、市民の方々は頻繁に運動していると思います。他にも子育てでは、「皆で支え合って子育てしていると実感している」人が9割もいます。 次の協議会では、膨大な量で恐縮ではありますが、アンケート結果の数字で表された現状に加え、皆様ご自身の日常的な感覚も大事にして議論を進めていければと思っています。 では、次の議題に移ります。
事務局	計画の構成（案）について説明させていただきます。計画の構成については、事前に配付させていただいております、A4の1枚をご覧ください。これまででは、健康増進計画と食育推進計画は別々に策定していましたが、次期計画は一体とした計画で策定したいと考えております。（構成を説明） こちらの計画の構成（案）について、委員の方からご意見ありますでしょうか。
会長	何か意見があれば、ご発言よろしく申し上げます。 特に異論等がないということで、次の議題に移ります。
事務局	（2）平成29年度 健康づくり事業実績 それでは、事務局より平成29年度1月末までの実績について重要な点のみ説明させていただきます。 1 栄養・食生活分野：岸根栄養士より報告 2 身体活動・運動分野：岸根保健師より報告 3 休養・こころの健康づくり分野：岸根保健師より報告 4 歯と口腔分野：岸根保健師より報告

	<p>5 たばことアルコール分野：岸根保健師より報告</p> <p>6 生活習慣病の分野：平尾保健師より報告</p> <p>以上です。ご意見ありますでしょうか。</p>
副会長	<p>○資料には実績と目標が記載されていますが、平成29年度の目標が見当たりません。どのように理解すればよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>⇒記載されている目標は、計画最終年の平成30年度のもので、分かりにくい表を作成してしまい、申し訳ございません。計画の進め方として、単年ごとの目標を設定するのではなく、毎年の実績を報告することで、最終年の目標に向けた進捗を順次管理していくという方法をとっています。</p>
副会長	<p>評価指標による管理をしていることは、とても素晴らしいことだと思います。県の委員会にも参加していますが、プロセス評価のみで本当に効果があるのか分かりにくいところがあります。このように数字で進捗を評価すれば、何をすれば良いのかについて議論しやすいので、是非次期の計画でも計画指標を活用してください。</p>
事務局	<p>そのように考えています。毎年評価できるものは毎年しますし、何年か区切りが必要なものは期間を置いて評価します。</p> <p>ただ、数値目標だけでは不十分なところもあります。今期の計画はたった5年の期間でしたが、策定当初には思いもよらなかった事業が出てきているからです。特に歯科の分野では、健診会場で成人の歯科健診をしていなかったのが、途中でできるようになりました。また、がん検診の助成券を配るようにもなりました。このように計画当初の想定に無かったものでも、必要とあれば新しく事業を展開していくように計画内容を変えていく必要があります。</p> <p>そういった観点から何かご意見はありませんでしょうか。例えば、今年健康づくりの取り組みに対して、それは本当に必要があるのか、あるいは他の自治体ではこのような取り組みをしているけれども、本市でも同様の取り組みをしてはどうか、などご意見はありますか。</p>
会長	<p>私から一つ。乳がん検診で自己評価するときは、十分に注意してほしいです。マンモグラフィによる早期発見が役に立ちます。</p> <p>他にご意見が無いようでしたら、次の議題に移ります。</p>
事務局	<p>(3) その他</p> <p>今後、計画構成(案)に沿って健康づくりと食育推進の取り組みについて協議させていただきたいと思います。次回の健康づくり推進協議会は、4月末か5月連休明けを予定しております。事前に案内をご送付させていただきます。今後、計画策定の進捗状況によりますが、月1回の開催を予定しております。ご多忙のところ申し訳ございませんが、ご出席のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>また、今後、本協議会を開催した場合は、会議録を作成し、市のホームページにおいて公開します。会議録の作成の流れとしては、10日以内に会議録を作成し、委員に郵送させていただきます。委員は発言された内容を中心に5日以内</p>

	<p>に確認し、修正が必要な場合は事務局へ連絡をいただきますようお願いいたします。修正した会議録について、最終的に会長に確認をいただき、委員へ送るとともに、市のホームページにアップさせていただきます。</p>
事務局	<p>以上で議題は終了ですが、会長が最後のご出席ということで、何か最後に一言よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>実は去年に頸椎の手術をしまして、30分以上同じ姿勢をとると、手足がしびれます。今は手足だけでなく背中も痛みます。ですから、こういう会議に耐えられるか心配でしたが、何とか頭も回っておりますので、これからも智恵を絞って皆様と頑張っていければと思っております。</p>
事務局	<p>私は今日の会議が最後の出席となりますので、お世話になった皆様に一言ご挨拶をさせて下さい。私は宍粟市で保健師を38年してきましたが、その経験から特に気になっていることがあります。それは冒頭にお話した人口構造の変化、高齢化です。30数年の間でどんどん高齢化が進み、今まで宍粟市の地で経験したことのないような状況になっています。そうした中で、どのように健康づくりをしていくべきかと、日々悩んでおります。どんな分野も同じですが、一から新しいことを作るのは難しい時代ですので、皆の智恵を集めて今ある地域の資源を上手く活用することが大事だと思います。本当に長い間お世話になりました。これからも、皆様と協力して健康づくりを進めていければと考えております。ありがとうございました。</p>
会長	<p>仰るとおり、人口構造が大きく変化しており、宍粟市も自然消滅市と言われております。その中で、私たちの健康を守るだけでなく増進していくことが重要だと考えています。</p>
委員	<p>高齢化というイメージがありますが、宍粟市はまだまだ頑張っていけると思っています。昔から宍粟市は、保健師さんが地道な努力をしてくださっており、健康づくりの先進地でした。県内ではがん検診の受診率の高さが有名ですし、乳がん検診や子宮がん検診がまだ当たり前でなかった頃から、保健師さんたちの懸命な努力によって、他の地域に先立って検診が実施されてきました。そうした下地がある中で、更に今ではビックデータを、健康づくりへ活かそうとされています。高齢化であろうとも、宍粟市には大きな可能性があることを忘れずに、これからも健康づくりに励んでいければと考えおります。</p>
副会長	<p>私もここ30数年の間、宍粟市の健康づくりに携わってきました。本当に保健師さんたちは、とても活気があり元気のある方たちでした。今度は、これから30年の健康づくりに繋げていくという意識を皆様に持っていただいて、計画策定を進めていければと思います。以上をもちまして、本日の会議を終了とさせていただきます。</p>

\* 発言者の表記は、「会長」、「副会長」、「委員」、「事務局」とする。